

機械器具 16 体温計  
管理医療機器 皮膚赤外線体温計 17888000

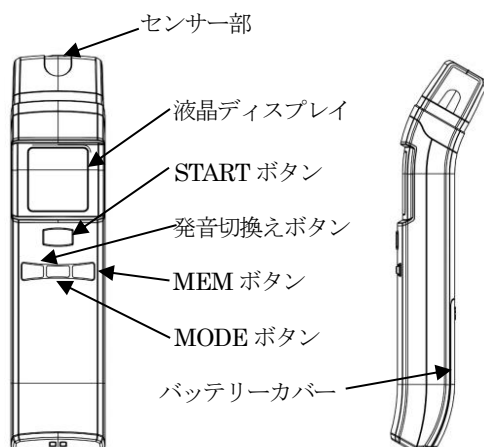
## 非接触赤外線体温計 900

### 【禁忌・禁止】

- ・本製品を水その他の液体に浸さないこと。
- ・故障の原因となりますので、落としたり強い衝撃を与えないこと。
- ・本体の先端に異物を挿入しない事。
- ・-20℃以下や 50℃以上、95%RH を超える環境下で保管しないこと。

### 【形状・構造及び原理等】

#### 1. 各部の名称



#### 2. 本体の寸法及び質量

- ・外形寸法：152 (縦) × 36 (横) × 37 (厚さ) mm
- ・質量：68g (電池を含まず)

#### 3. 機能

- ・Body temperature モード (体温測定)：こめかみ部の温度を測定し、体温 (舌下温) に換算して表示する。
- ・Object temperature モード (温度測定)：哺乳瓶の温度測定等、温度計として使用できる。
- ・メモリ機能：Body temperature モードで測定した直近のデータ 32 件を保存する。

#### 4. 電氣的定格

- ・電源電圧：DC3V (単 4 乾電池 2 本)
- ・電撃に対する保護の形式による分類：内部電源機器
- ・電撃に対する保護の程度による分類：BF 形装着部
- ・防塵防水保護等級：IP22
- ・本品は EMC 規格 IEC 60601-1-2 に適合している。

#### 5. 原理

本品は、体表面の温度を非接触的に測定し、測定した温度を表示する皮膚赤外線体温計である。人体の体表面からは赤外線が放射されており、本品の熱型赤外線センサーであるサーモパイルでこの赤外線を捉えて、体温に換算して表示する

装置である。

Object temperature (温度測定) モードは、哺乳瓶の温度など物の温度を測定し、実測温度を表示する。

Body temperature (体温測定) モードは、こめかみ部を測定部位とし、測定した温度及び外気温から体温 (舌下温) を換算して表示する。

#### 6. 仕様に係る事項

- ・表示温度範囲：22℃～42.5℃ (体温計モード)  
0℃～100℃ (温度計モード)
- ・周囲温度範囲：16℃～40℃
- ・最小表示単位：0.1℃
- ・最大許容誤差：±0.2℃ (体温計モード 36℃～39℃)  
±0.3℃ (体温計モード その他の範囲)  
±3.0℃ (温度計モード 0℃～100℃)

### 【使用目的又は効果】

体表面上の皮膚の体温を測定するために用いること。

### 【使用方法等】

#### 1. 使用準備

- ・16～40℃の使用環境であることを確認します。そうでない場合は、16～40℃の環境下で 30 分以上置いてから使用します。
- ・本品の START または MODE ボタンを短く押して、電源を投入します。
- ・電源を投入した際、バッテリー残量少のエラー表示がされた場合は、以下の手順で新しいバッテリーに交換します。
  - 1) 本体背部のバッテリーカバーをスライドさせて、開けます。
  - 2) 使用済みのバッテリーを取り出し、新しいバッテリーに交換します。この時、バッテリーの極性を確認します。
  - 3) バッテリーカバーを閉じます。

#### 2. 使用中の操作

##### <Body temperature モードによる体温測定>

- ・電源を投入すると、Body temperature モードになりますので、液晶ディスプレイで、測定準備状態であることを確認します。
- ・こめかみ部から 2～3cm 離れたところで固定し、START ボタンを短く押します。測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。ミュートモード (無音) に設定の場合は、約 1 秒間その位置を維持します。
- ・画面上の温度を読み取ります。測定結果は自動的にメモリに保存されます。
- ・正常な測定結果では緑色のバックライトが表示されます。以下の正常でない場合は、赤色のバックライト及びエラーメッセージが表示されます。バックライトは 2～3 秒後に自動的に消えます。
- ・測定結果が表示温度範囲外である時は、Hi 又は Lo を表示します。
- ・周囲温度が 16℃～40℃の範囲内でない時は、L16 又は H40 を表示します。

##### <Object temperature モードによる温度測定>

- ・MODE ボタンを押して Object temperature モードに切り替え、液晶ディスプレイで、測定準備状態であることを確認しま

す。

- ・温度を測定したい物から 2～3cm 離れたところで固定し、**START** ボタンを短く押します。測定完了音が聞こえるまで、距離を維持します。ミュートモード（無音）に設定の場合は、約 1 秒間その位置を維持します。
- ・画面上の温度を読み取ります。**Object temperature** モードによる測定結果はメモリに保存されません。

#### <メモリチェック>

- ・**MEM** ボタンを短く押して、メモリ域を参照します。
- ・データは直近のデータ(1)から、以前のデータ(2～32)の順に保存されます。
- ・**MEM** ボタンを押すと、カウントを続け、保存順に表示されます。
- ・本品は約 30 秒後に **Body temperature** モードに切替ります。
- ・メモリに保存されるデータは、**Body temperature** モードによる測定結果のみです。

#### <音発生切替え>

- ・発音切替えボタンを短く押して、発音／ミュートモード（無音）を切替えます。デフォルトは、発音モードです。

#### 3. 使用後の処置

- ・本品は使用後約 1 分で自動的に電源が切れます。特に操作の必要はありません。

#### 【使用上の注意】

- ・小児や乳児を測定する場合はしっかりと抱き、動かないようにしてください。動くことによって測定結果に精度を欠く場合があります。
- ・測定は温度が安定した屋内で行ってください。同様に被測定者も安定した温度で、十分に慣らしてください。
- ・室内でも扇風機、温風機、エアコンなどの空気の流動を起こす機器が作動している部屋では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ・発汗した状態、運動の後、雨天時、帰宅直後、シャワーの後等では、測定の結果に精度を欠く場合があります。
- ・正確な測定のために、髪、化粧、異物等は取り除いてください。
- ・こめかみ部で測定を行ってください。測定部位によって表示温度は異なります。
- ・バッテリー残量が少ない場合は、測定の結果に精度を欠く場合があります。新しいバッテリーに交換し、再度測定を行ってください。
- ・使用する環境が 16～40℃でない場合は、16～40℃の環境下で 30 分以上置いてから使用してください。
- ・破損又は故障した場合には使用を中止し、販売店等を通じて修理を依頼してください。
- ・改造及び修理はしないでください。本品の修理は認定を受けた技術スタッフに限られます。また改造による破損や故障は保証の対象外となります。
- ・長期間使用しない場合は、電池を外し、本品を安全な場所で保管してください。
- ・本品のセンサー部は傷つき易いため、汚れや傷の無い状態を維持してください。

#### 【保管方法及び有効期間等】

- ・直射日光を避け、乾燥した清潔な場所で保管してください。

#### 【保守・点検に係る事項】

- ・メチルアルコールを含ませた綿棒で、センサー部の表面を注意深く清掃してください。

#### 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

\*製造販売業者：ヒュービディックジャパン株式会社  
東京都八王子市北野町 507 番 6 号  
電話：042-649-1920

製造業者：HuBDIC Co., Ltd.（大韓民国）